

令和6年度
保護者アンケートのまとめ

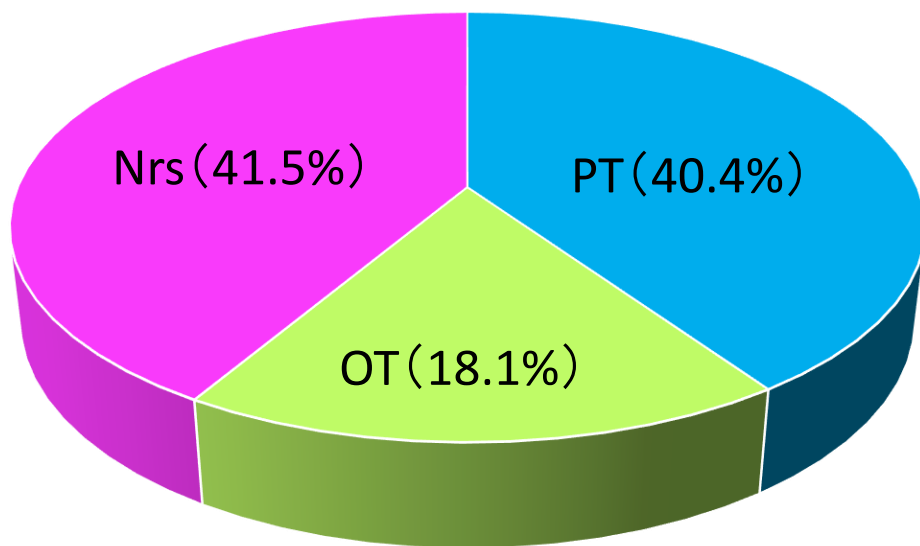
アンケート実施期間
(令和6年11月1日～令和6年12月31日)

北都保健福祉専門学校

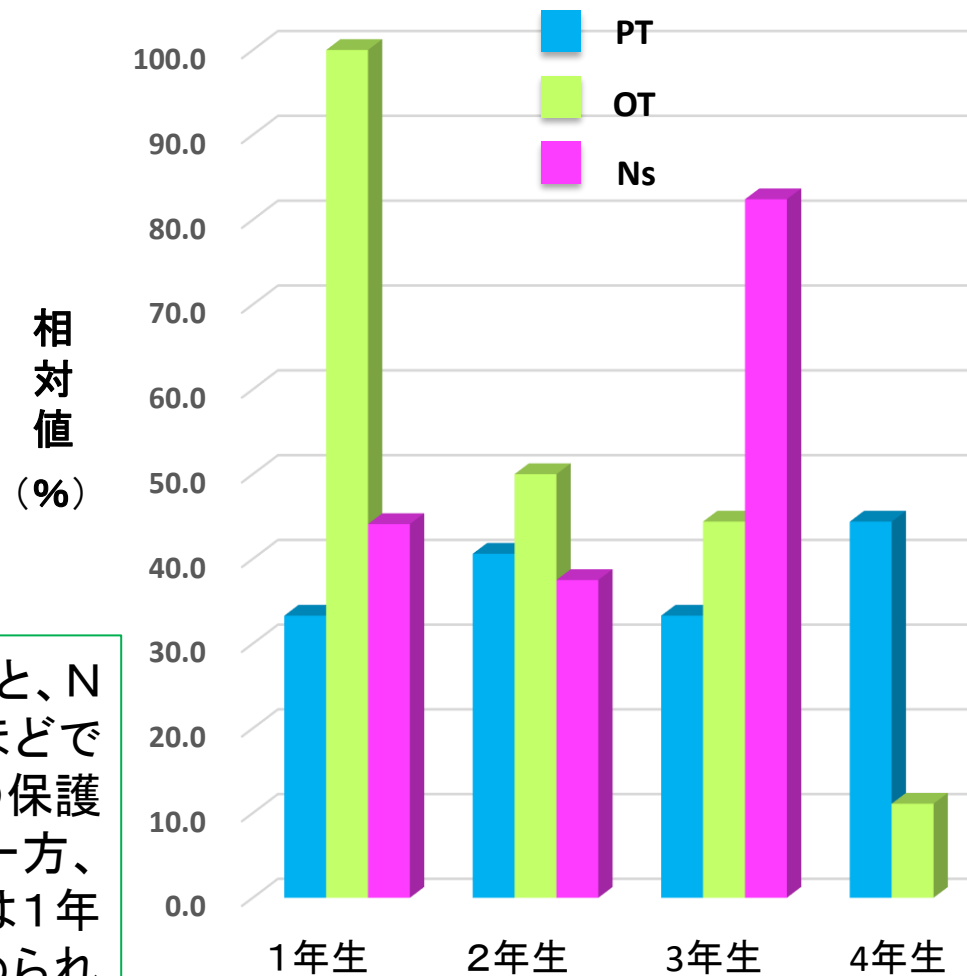
Q1.保護者の回答率はどうであったか

学科間の比較

(PT=理学療法学科、OT=作業療法学科、Ns=看護学科)



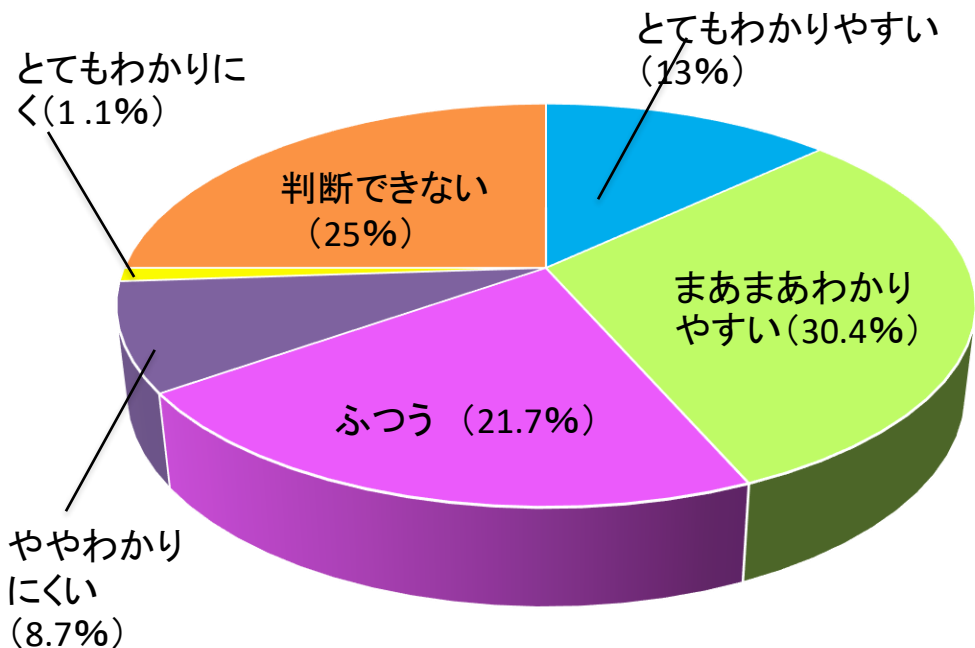
各クラスの回答率



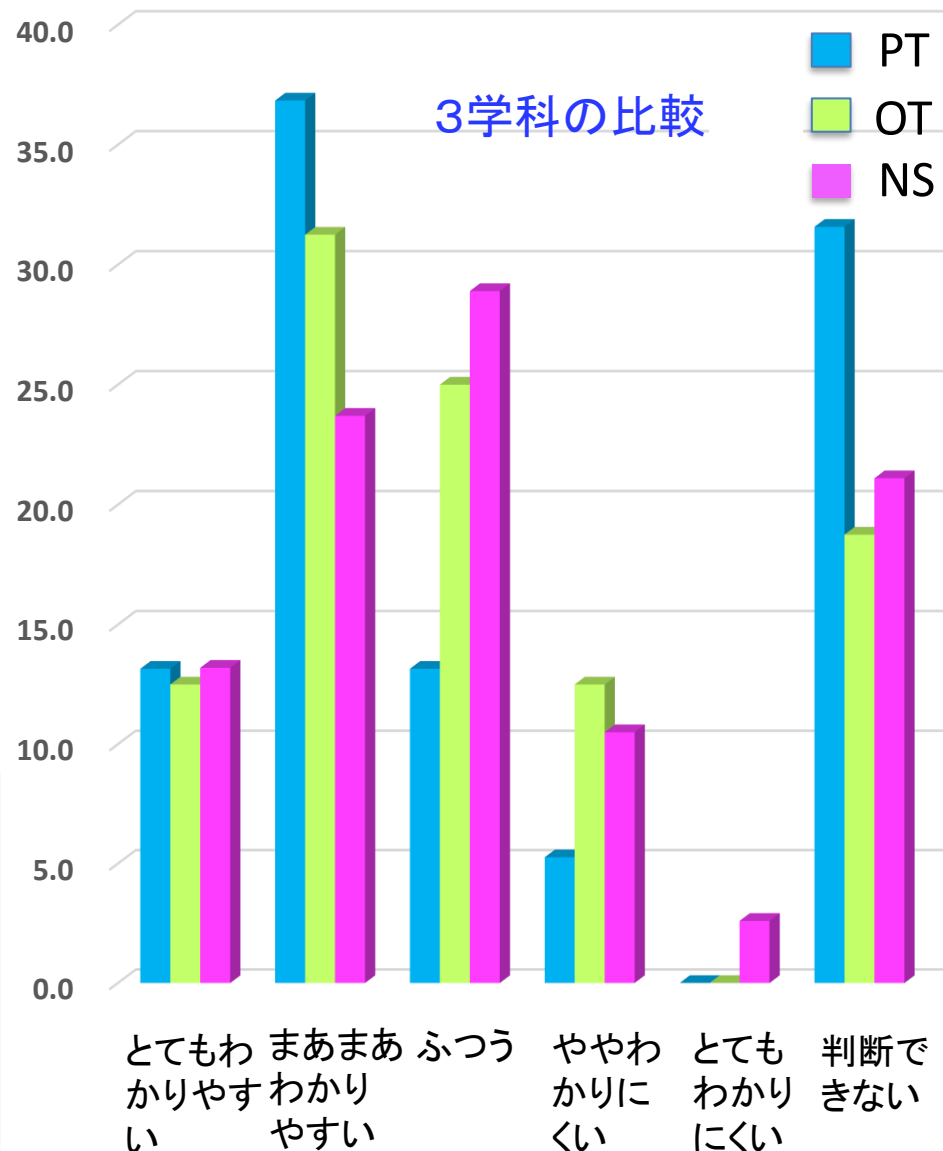
全回答者に占める3学科保護者の回答率を比較すると、NsとPTはほぼ同じほどであり、OTはそれらの半分ほどであった(上図)。各クラスの回答率に注目すると、PTの保護者ではどの学年でも同じような回答率を示していた。一方、Nsでは3年生の保護者がよく回答しており、OTでは1年生の保護者がより積極的に回答している傾向が認められた(右図)。

Q2.教員はわかりやすい授業を提供しているか

学校全体の分布



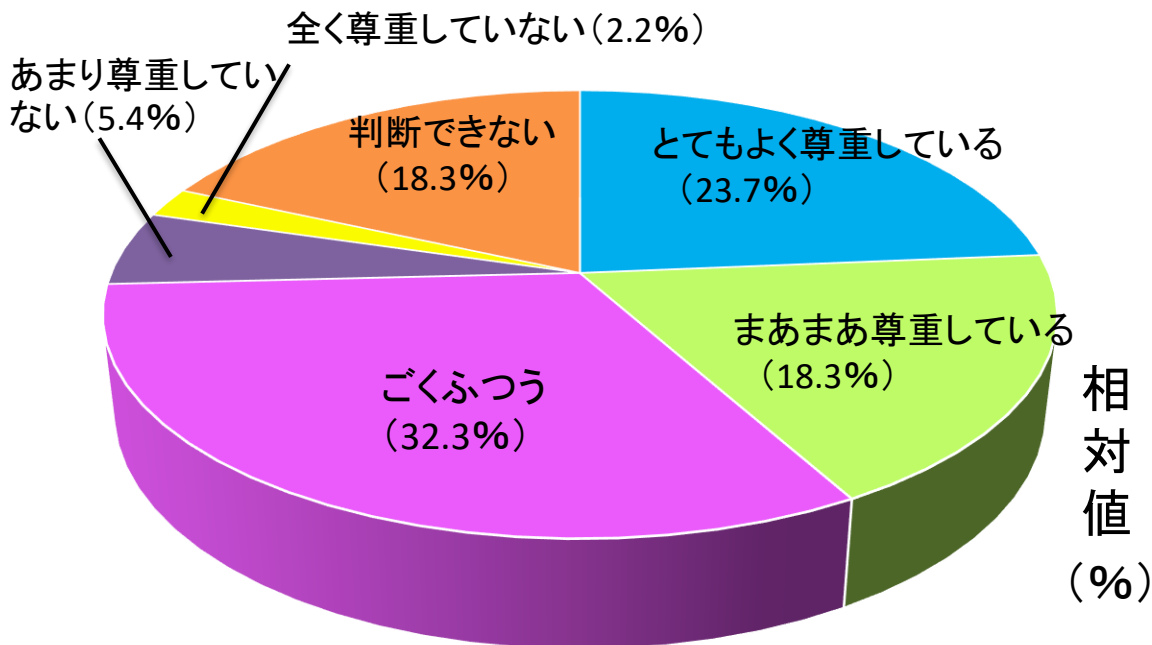
相対値 (%)



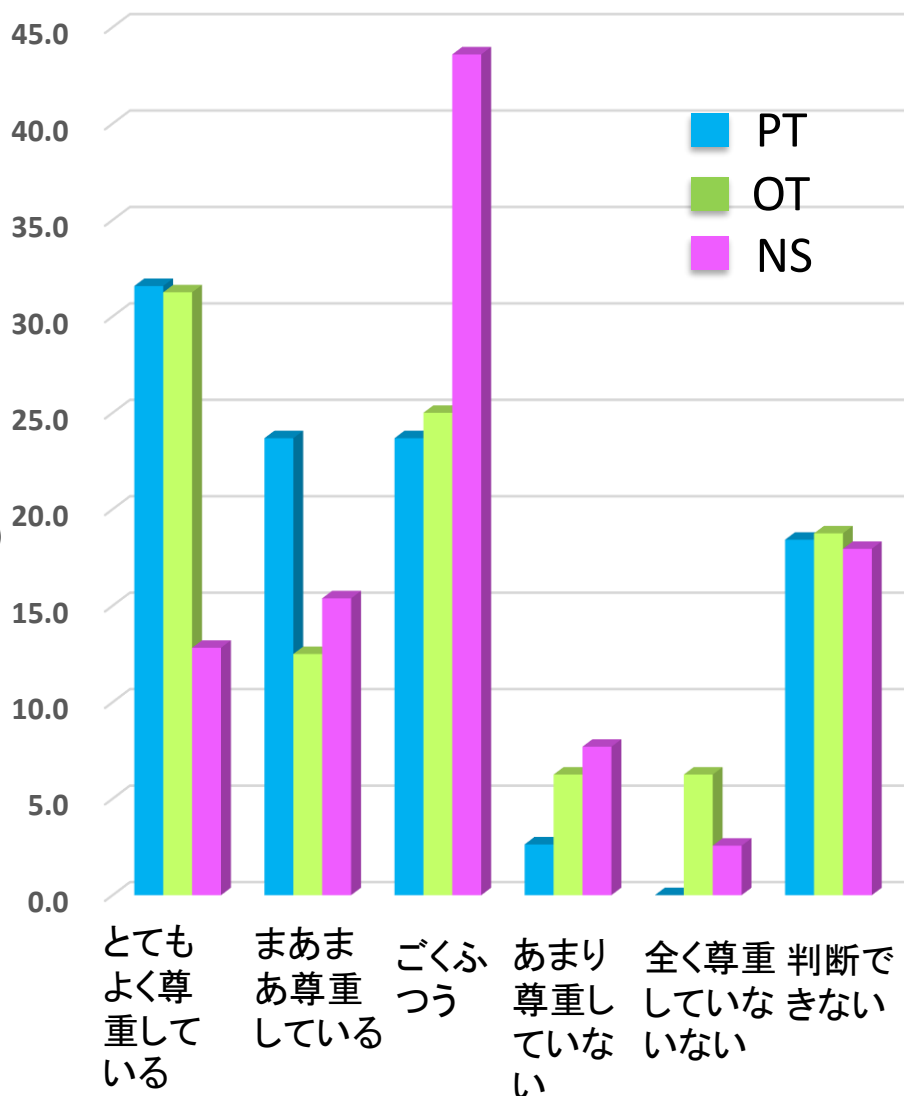
「ふつう」やそれ以上の「わかりやすい」の回答は合計で65.1%となり、昨年対比で10%減少していた。その割合とほぼ同じだけの「判断できない」という回答が増えた。3学科の比較で見ると、ほぼ同様な評価であった。わかりにくさを減らすため、さらなる授業改善を進めることが望ましいと考えられた。

Q3.教員は学生の人権を尊重しているか

学校全体における分布



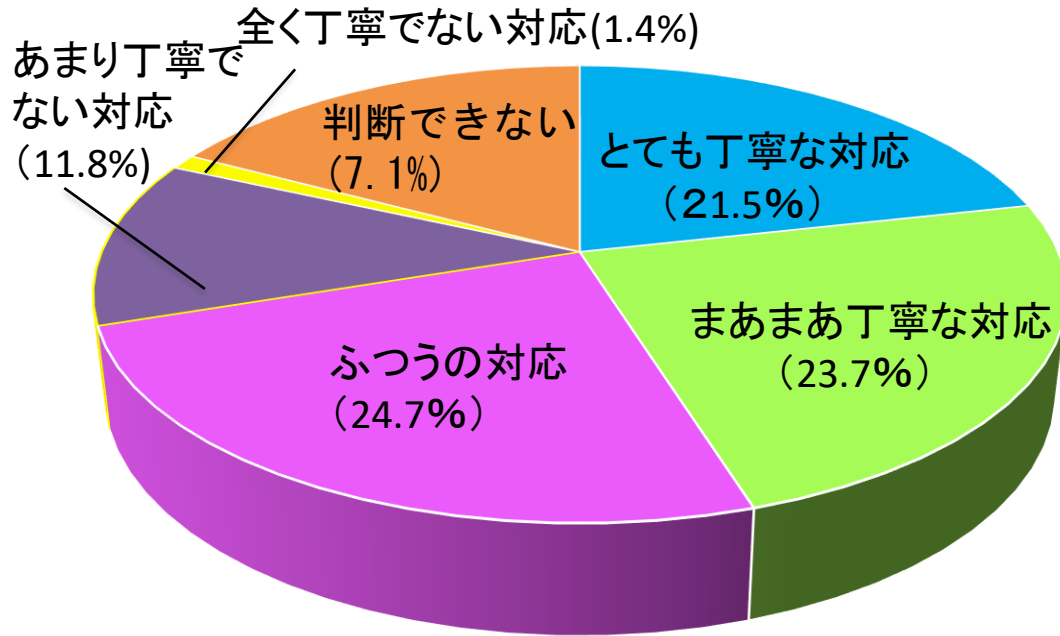
3学科の比較



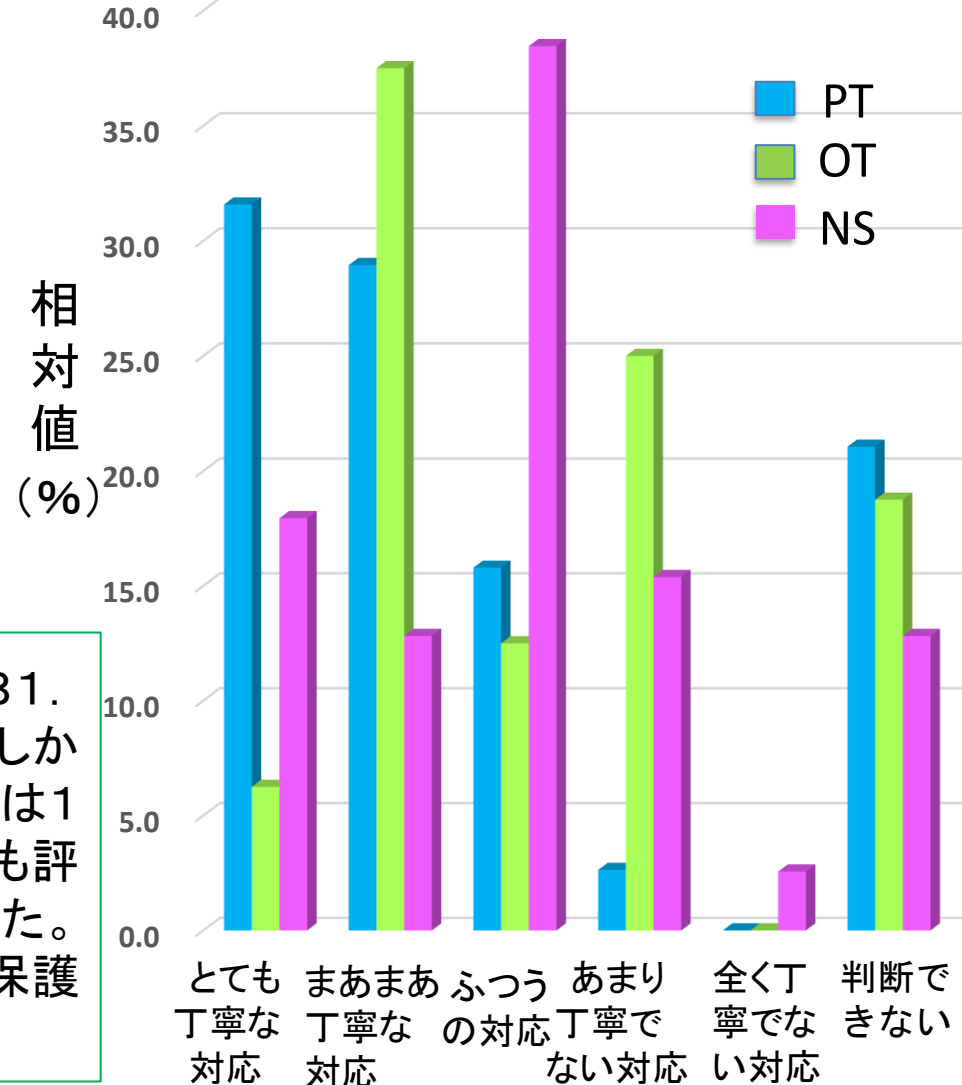
「ごくふつう」+「それ以上の対応」は、昨年対比でほぼ同程度であった(上図)。逆に、「あまり対応していない」とか「全く対応していない」という回答はむしろ半減していた(右図)。それゆえ、教員が学生の人権を尊重していると感じる保護者は徐々に増えてきたと推測される。学科間比較では、PTやOTがより人権の尊重に配慮していたと考えられる。

Q4.就学上の問題に関して対応しているか

学校全体の分布



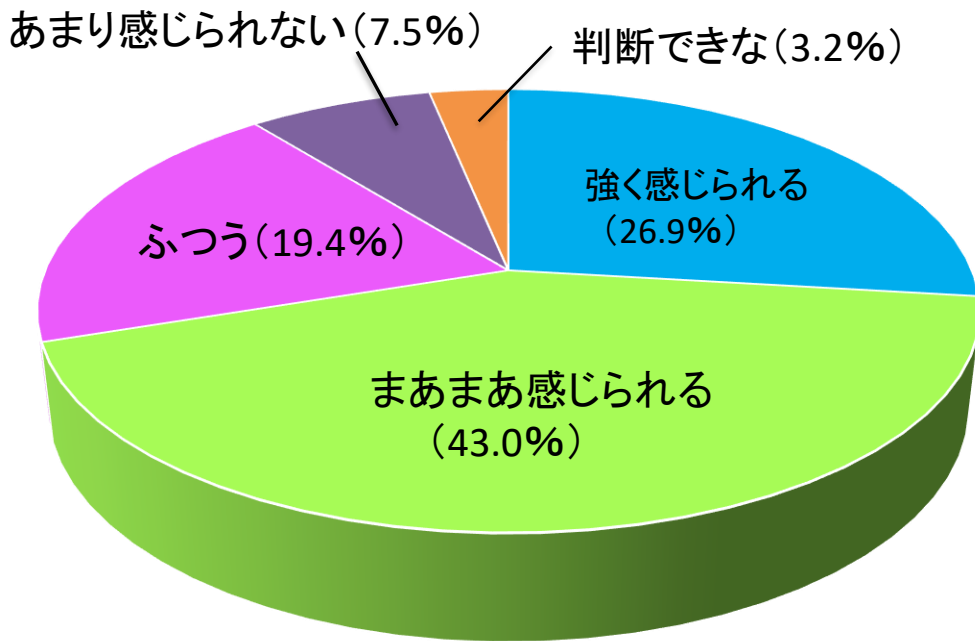
3学科間の比較



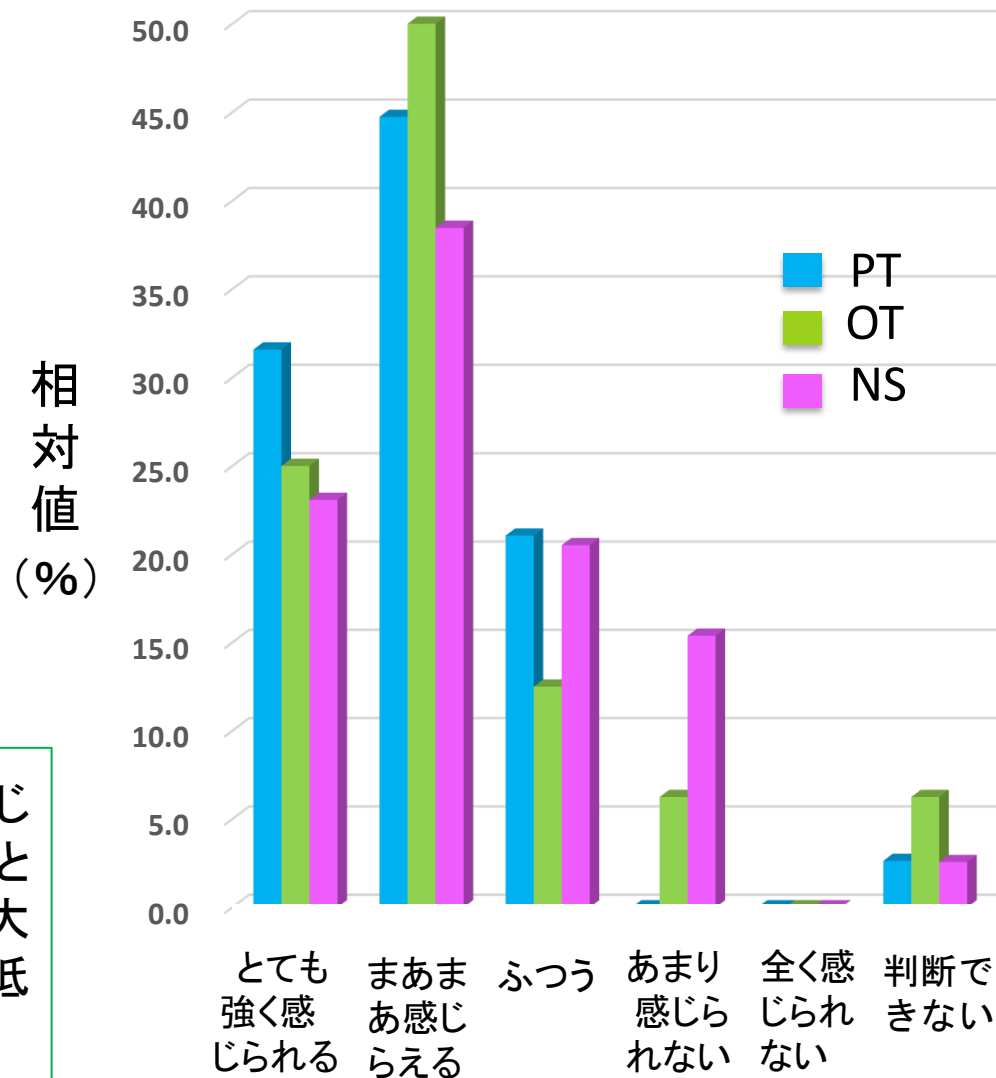
教員の学生対応は「ふつう以上」と回答した割合が81.7%であり(上図)、概ね良好であったと判断される。しかし、「多少なりとも丁寧でない対応」と回答した保護者は13.2%であった。学科間比較では、PTの対応が最も評価が良かった。OTの評価は2つの集団に別れていた。Nrsでは、「ふつうの対応」であるという印象を持つ保護者が相対的に多かった。

Q5. 学生生活が有意義と感じられるか

学校全体での分布



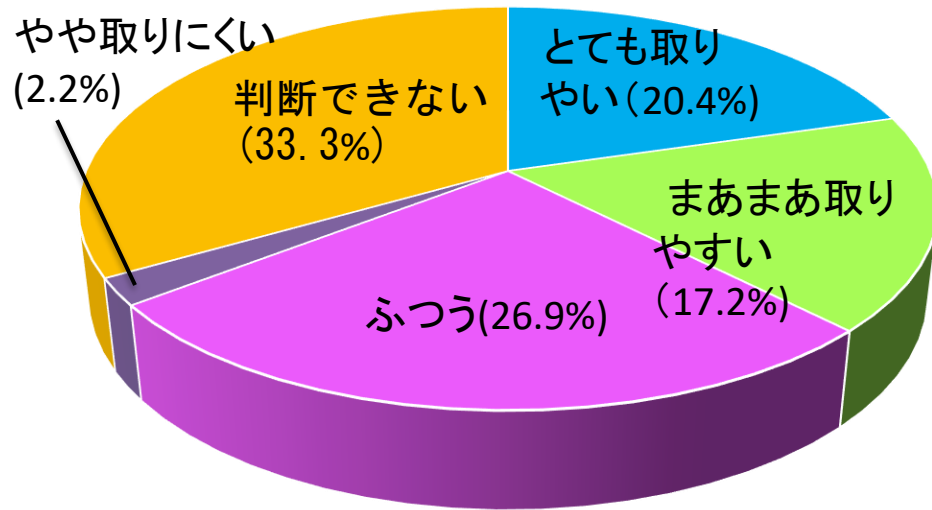
各学科の比較



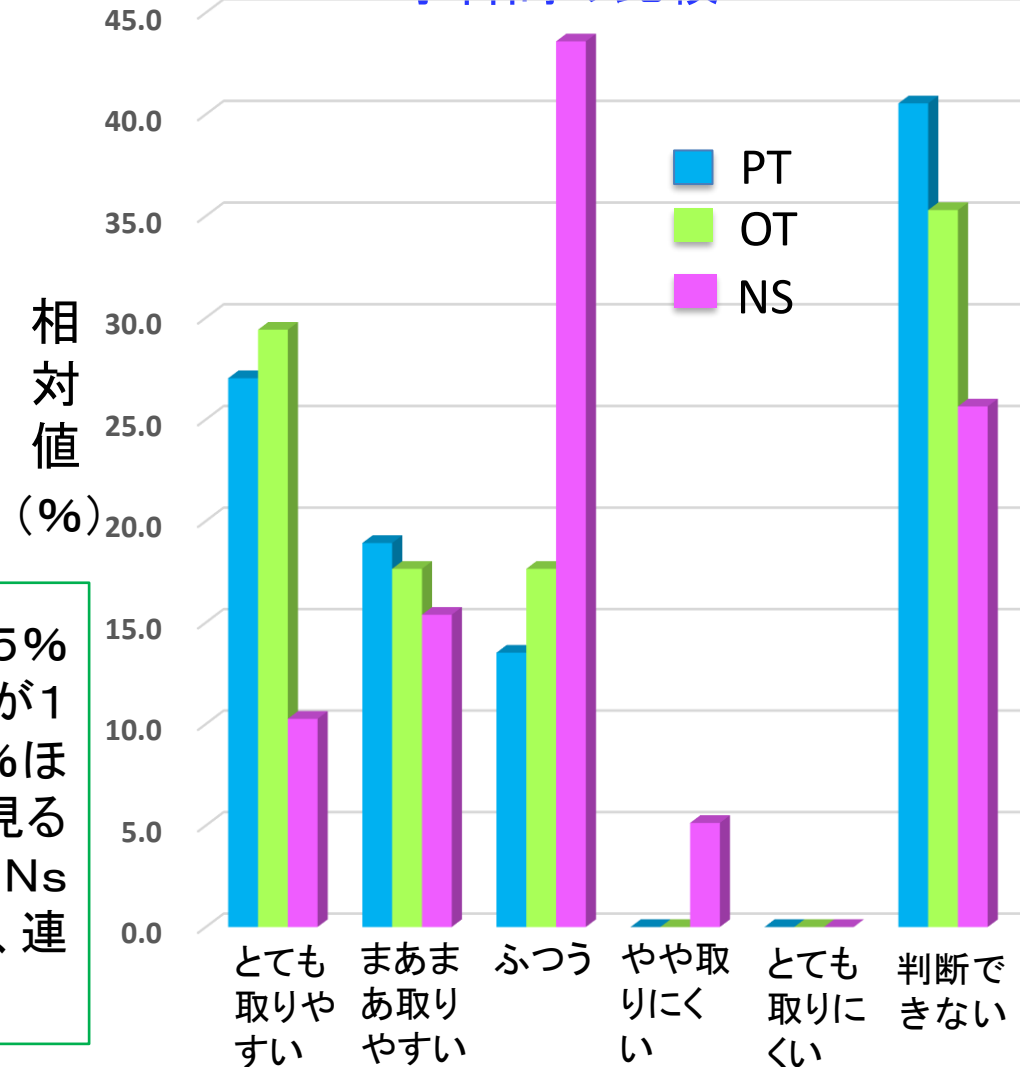
「ふつう」および「それ以上に有意義である」と感じた保護者は89.3%ほどであり(上図)、昨年度とほぼ同程度であった。学科間比較でもそれほど大きな差異はなかったが、看護学科の評価はやや低めであったと考えられる(右図)。

Q6.学校への連絡は取りやすいか

学校全体の分布



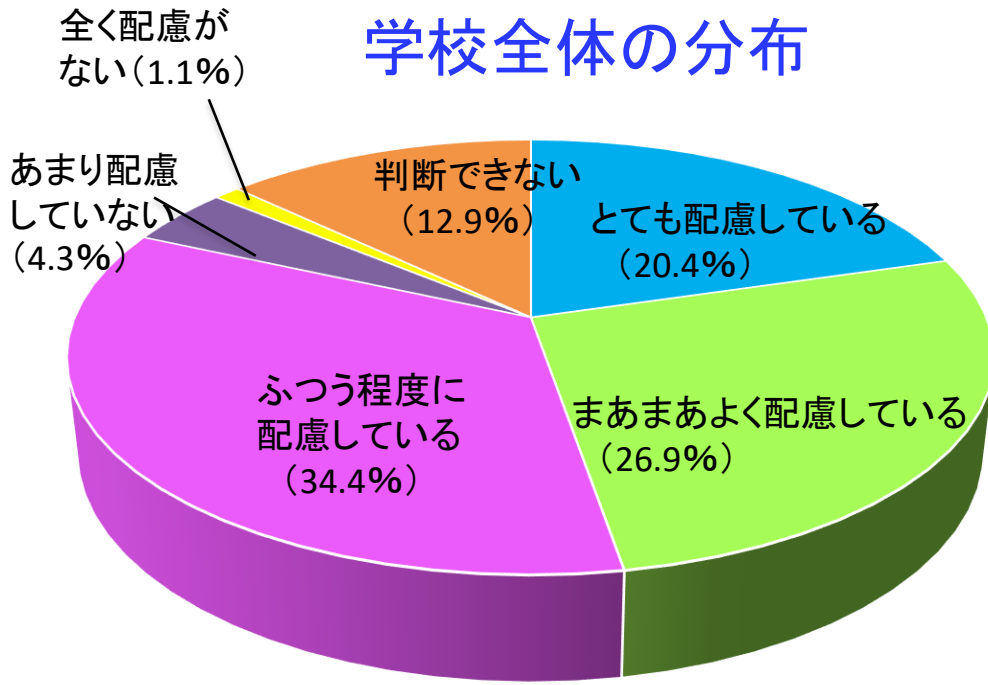
学科間の比較



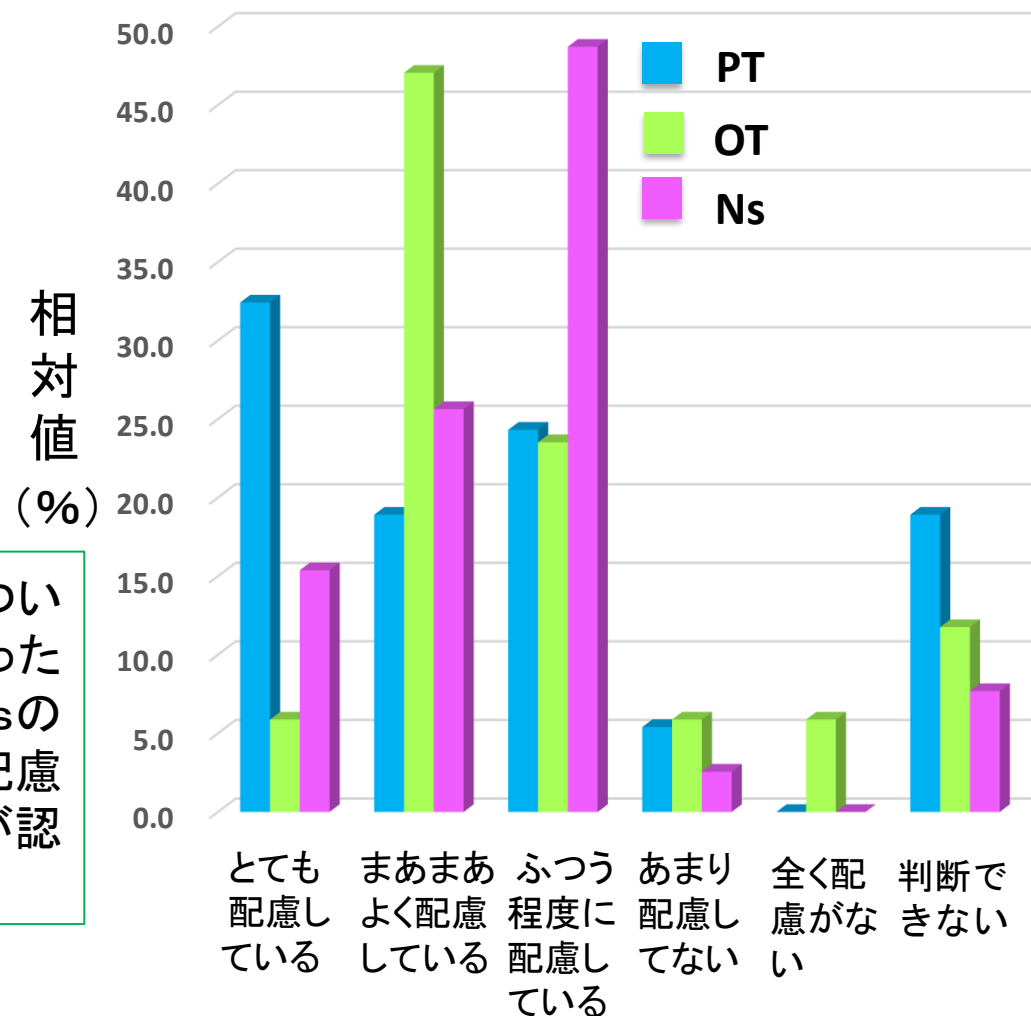
「ふつう」や「取りやすい」と感じる保護者は64.5%であった(上図)。昨年対比で、「やや取りにくい」が10%ほど減り、「判断できない」とする回答が10%ほど増えていた。昨年対比と学科間比較の視点で見ると、PTやOTの対応が有意に改善されてきたが、Nsは昨年度よりやや悪くなっていた。しかし、総じて、連絡は取りやすくなってきたと考えられる。

Q7.安全対策や健康管理に配慮しているか

学校全体の分布

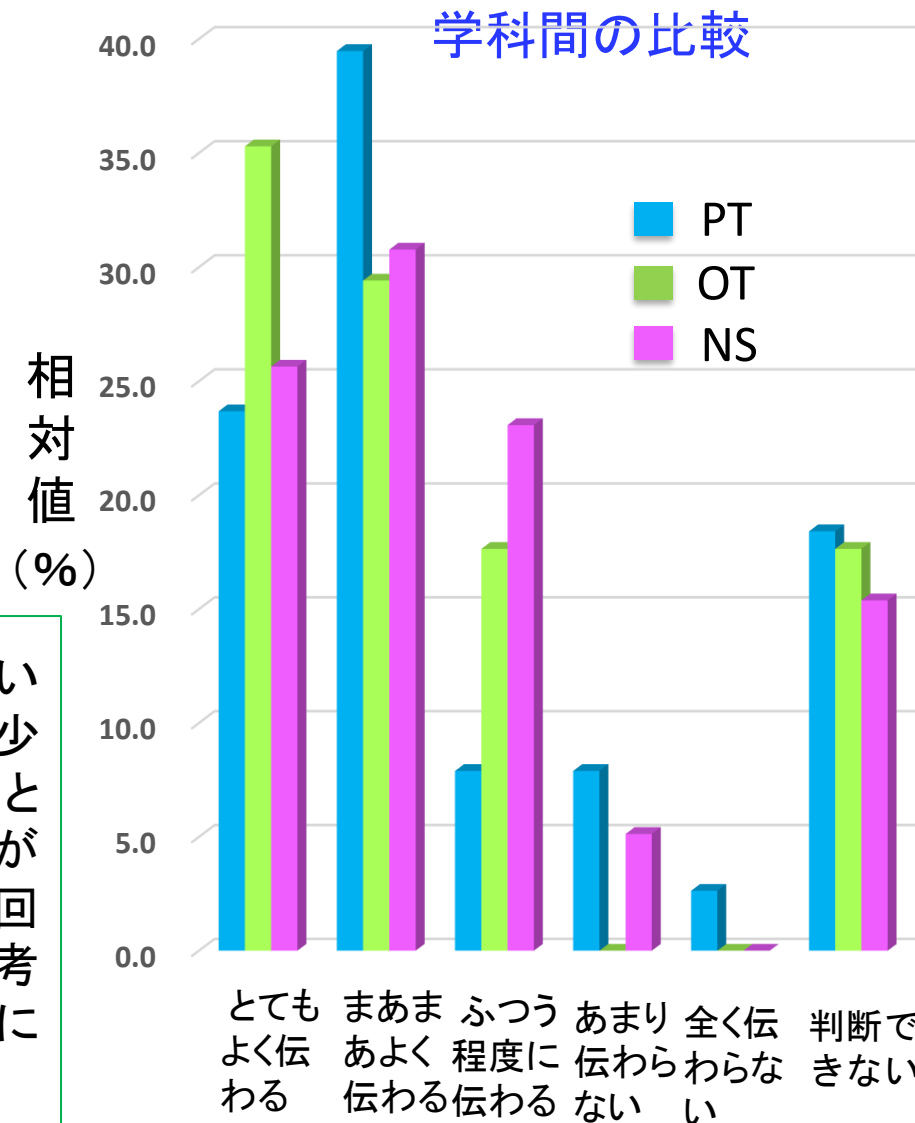
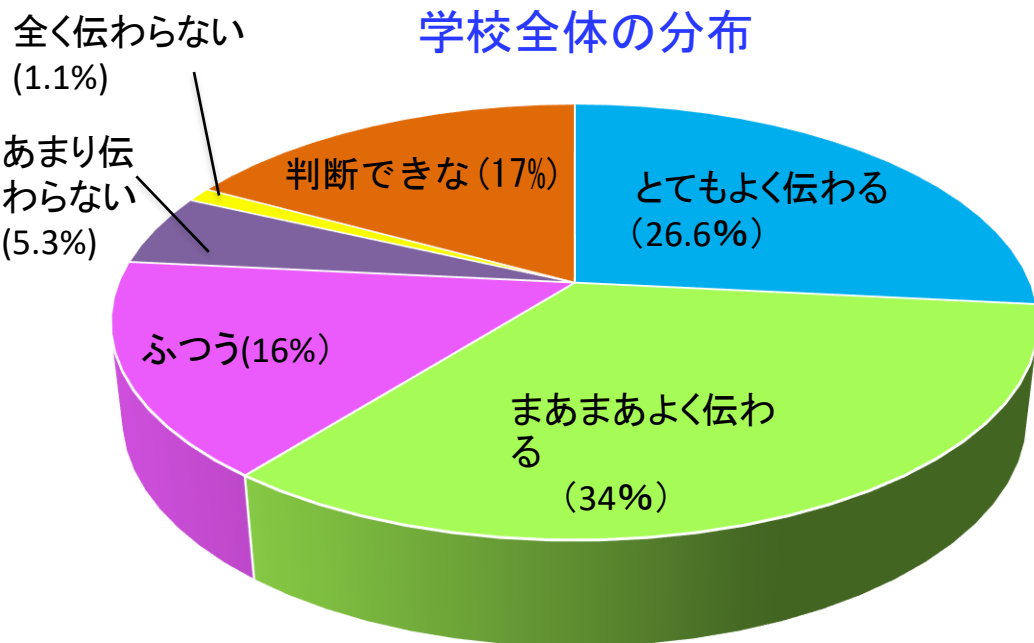


学科間の比較



学生の安全性確保の対策や心身の健康管理については、学校全体では昨年度とほぼ同じ結果であった(上図)。ただ、学科間の比較すると、PT>OT>Nsの順序となった。つまり、学科ごとの学生に対する配慮には、保護者の受け止め方が多少なりとも差異が認められた(右図)。

Q8.HPやSNSから本校の様子が伝わるか

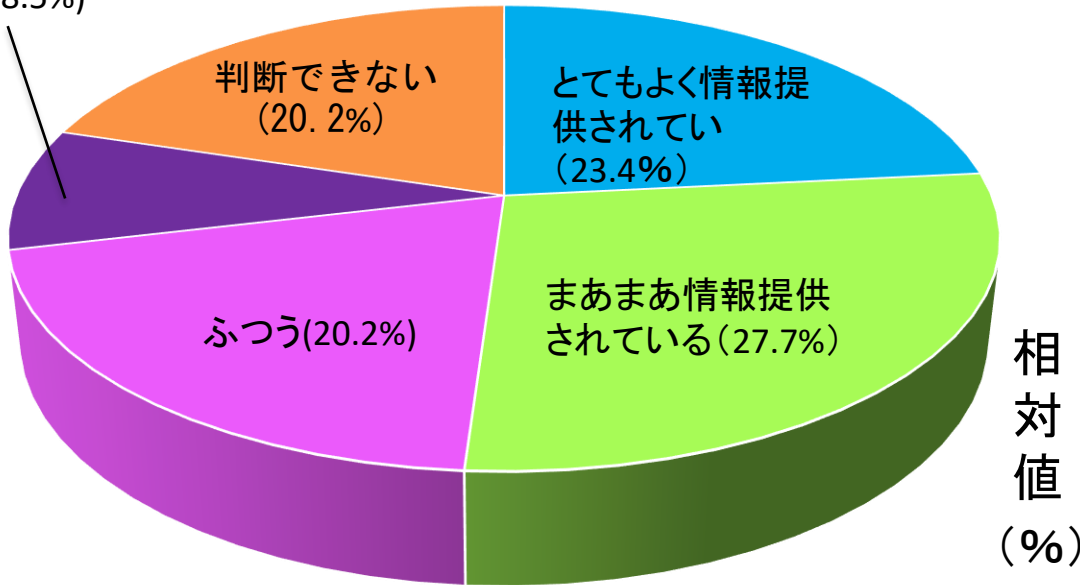


「ふつう」および「それ以上」に学校の様子が伝わるという回答は76.6%であり(上図)、昨年対比で12%減少した。その減少分に相当する回答が「判断できない」という区分の増加となったため、保護者のアクセス数が減少したことが一因と考えられる。この質問に対する回答から、3学科はそれぞれ情報発信に努めてきたと考えられる(右図)。今後も、学校の情報発信力をさらに高めていきたい。

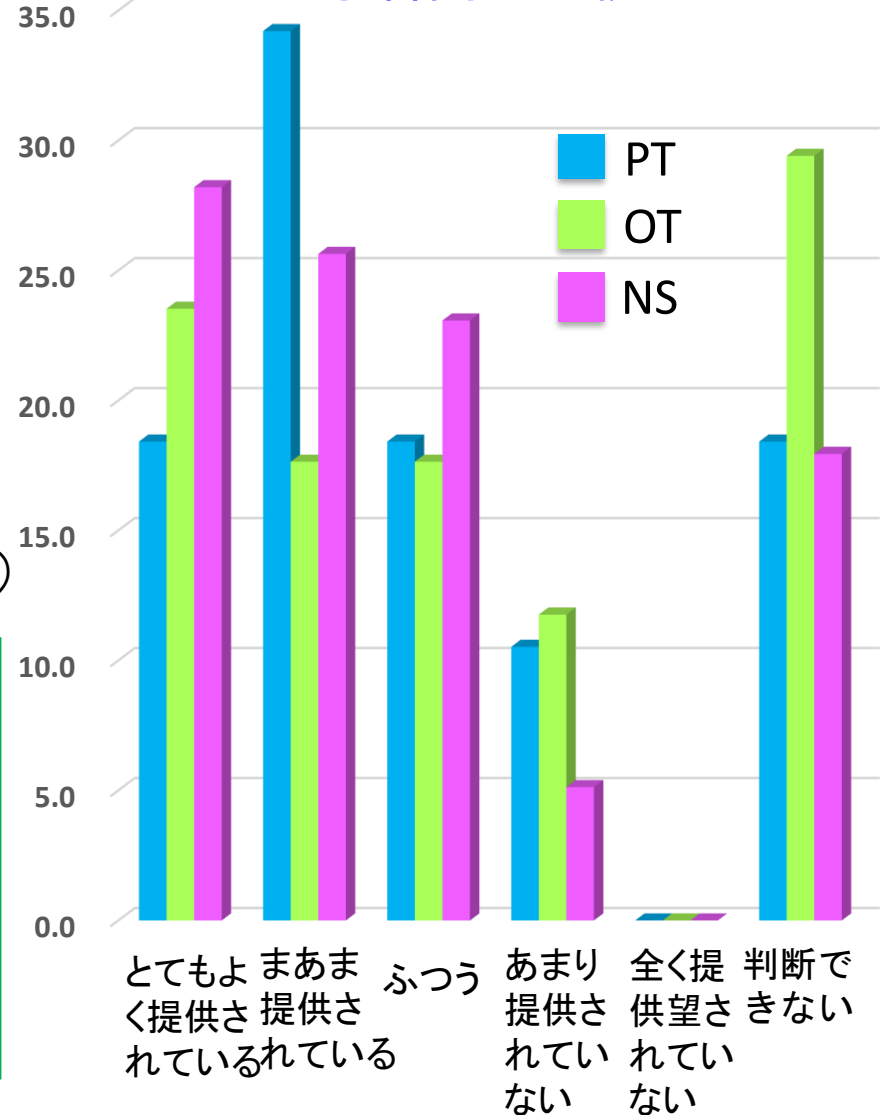
Q9. マチコミ・メルマガの情報提供はどうか

学校全体の分布

あまり情報提供されていない (8.5%)

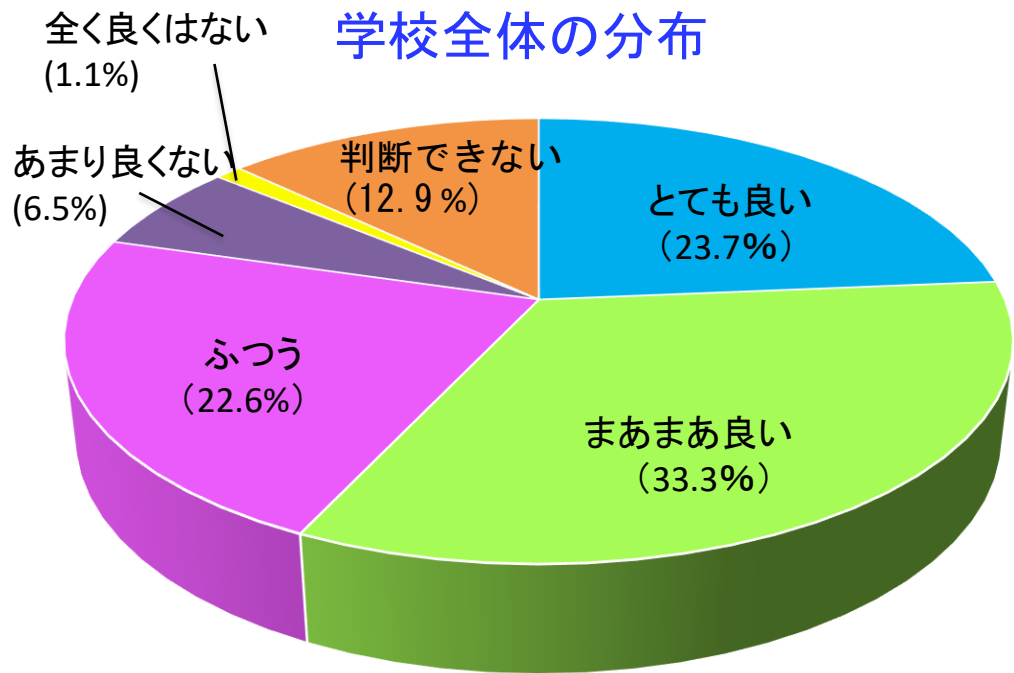


学科間の比較



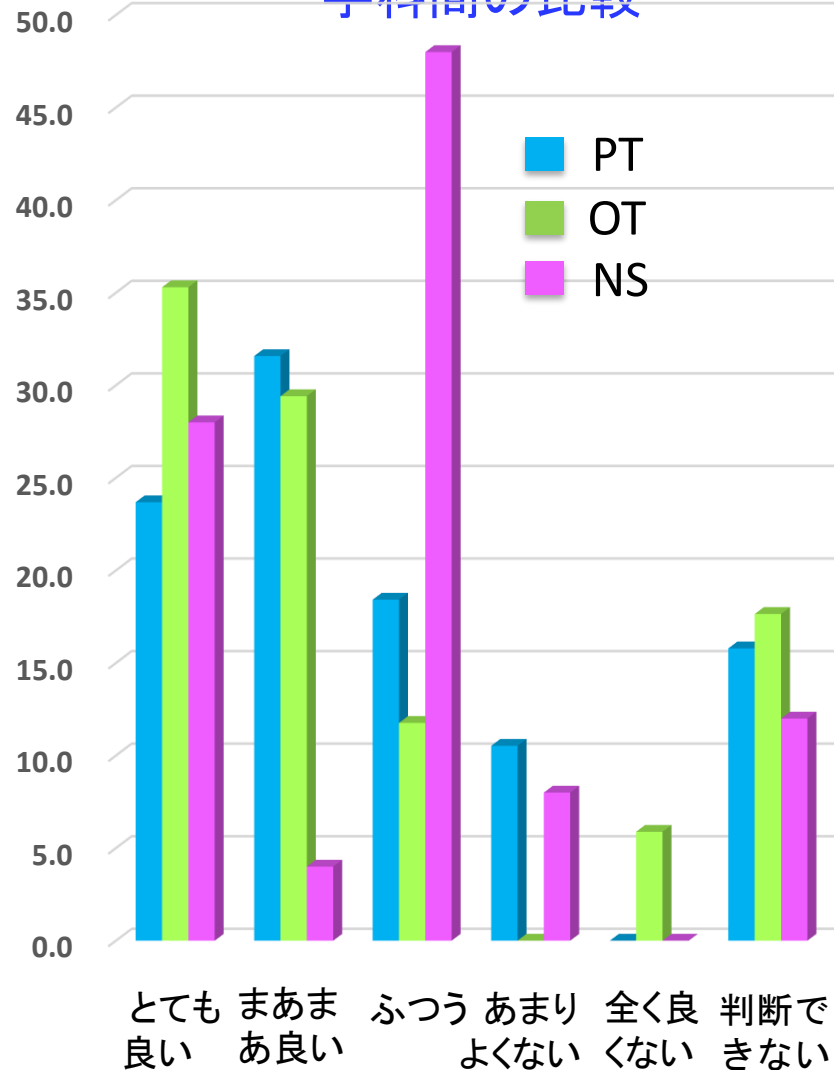
「ふつう」以上によく情報提供がなされていたという回答は71.3%であった(上図)が、「あまり提供されていない」という回答は合わせて8.5%であった。ただ、「評価できない」とする回答は20.2%であり、必ずしも本校のメルマガが保護者に届いていなかった可能性が考えられる。改善すべき内容や頻度などは、今後の課題の一つと考えている(右図)。

Q10.教育活動改善の取り組みはどうか



相対値 (%)

学科間の比較



「ふつう」および「それ以上に良い」という回答は全体で79.6%であった(上図)。「あまり良くない」とか「全く良くない」という回答は7.6%であったが、「判断できない」という回答は12.9%であった。学科間の比較では、Nrsはやや評価が低く目であるが、教育活動改善の取り組みは、昨年度と同様に概ね評価されていたと考えられる。

Q11-1.本校への要望・意見と回答(PT)

1. 教員の対応 (その1)

- ・いつもお世話になっております。テスト前などの学習への取り組みをみていると、がんばっている様子があります。学校の指導のおかげと思い感謝しております。今後ともよろしくお願い致します。
- ・4年間大変良かったと思います
- ・卒業式は3月1日が良かったです。
- ・年間の予定を知りたい。夏冬春休みなど。

1. 学校回答

- ・好意的なコメントありがとうございます。すぐにできることは速やかに対応させて頂いております。年間の予定は、学生便覧、HP、メールマガジン等でお知らせいたしておりますが、もしご不明なことがありましたら、本校にお問い合わせください。

2. 教員の対応 (その2)

- ・教育活動や学校運営についてはありませんが、先生によっては時として(学生を)尊重していない時もある様な…。

2. 学校回答

- ・申し訳ございません。各教員には個性や考え方には多様なところがあり、それはそれで良いことかと思っておりますが、もし学生を尊重していないと感じることがございましたら、すぐに学科長、本部長、校長にご連絡ください。学生対応では、等しくどなたにも丁寧に対応していきたいと考えておりますから。

Q11-2.本校への要望・意見と回答(PT)

3. 教育費について

- ・なるべくお金がかからない学校になってほしいです。周りからも言われますがお金を考えると簡単には通わせられないと。私自身も働いても働いてもいろんな場面に金銭的に大変厳しく周りにはそんなに働いたら倒れるよと言われますがそれくらい働いても金銭的に追いつきません。何とか卒業(し)、(国家)資格を取ってほしく働いてる毎日です。
- ・学生からの駐車場代金の徴収を考えてほしいです。テストの点数がみたなかったら、お金を徴収するのも、勉強していない子が悪いのもわかりますが、お金徴収は考えてほしいです。実習にかかわる宿泊費、旅費は必要経費だとおもっています。

3. 学校回答

- ・昨今の物価高に加え、諸経費高騰はご家庭だけでなく、学校経営にも負担増となっております。他校では学費値上げも進んでいる状況です。本校では、教育に関する経費に無駄のないような対応をいたしておりますが、どうしても経費の中には受益者負担をお願いしていることもございます。駐車料金や再試料金に関しても、毎年、議論するところでございます。ただ、今後も冗費が出ないように、また、皆さまの予定外のご負担が出ないように対応させていただくと共に、どうしても想定外とお感じになる費用に関してはかなり前もってご連絡させて頂きたいと考えております。

Q11-3.本校への要望・意見と回答(OT)

1. 学生対応

・もう少し、学生と向き合ってほしい。国家試験対策について、グループで学習し、競わせてるようだが、それに対する新たなストレスも生じている。遅い時間までグループで居残りさせるのに効果はあるのか？罰ゲームにしか思えない。個人学習の時間も確保してほしい。それと、教員模試について、教員が作成したのならば、解答率の低いところや、わからないところはしっかり解説をして頂きたい。丸投げにしか感じません。国家試験の合格率を上げたいのならば、今までと同じやり方では難しいと思います。もう少し、分析をして学生に向き合って頂きたいです。

1. 学校回答

・国試対策の学習方法や居残り学習の意味について、学生にしっかり理解されていないことがわかりました。学生や保護者への配慮が不足していることをお詫び申し上げます。国家試験勉強の最重要課題は、①集中した学習時間の確保（1日8時間を目安）、②主体的な学習姿勢、③自身の特徴と実力を見誤らないことと考えています。

「教員室での居残り学習」は、①を補完するものです。学内だけで目標勉強時間を達成させ、学外学習は不要となります。また結果が出せていない学生の勉強方法や考え方などを教員が把握しやすいことも理由です。罰ゲームではありません。

「模試の解説、補講」は、②に関連するものです。補講・解説は一見効果的と考えられますが過去の実績として、学習姿勢において依存性や受動性を強めてしまい長期的に見ると逆効果であることが分かっています。（学生自らが質問や補講依頼があれば補講・解説を適宜実施しています）。分析して学生に向き合うこと」は、その通りだと思います。上記①、②でも効果がみられない学生には、学生固有の問題を抱えていることが原因です。よって、③に配慮しながら個別的な関りや見守りを強化しなければいけないと考えます。

Q11-4.本校への要望・意見と回答(OT)

2. PTやOTの認知度

- ・理学、作業療法士という資格(職業)を知らない人が多いと思います。
- ・高校生(中学生)に宣伝して入学生が増えたらいいなと思います。

2. 学校回答

・ご指摘の通りだと思います。特に中学生や高校生への知名度を高めることが必要と考え、現在体験授業や出前講座を積極的に実施しています。しかし、なかなか効果が現れておりません。

3. 食堂が欲しいです！

3. 学校回答

・同感ですが、学生数や利用頻度を勘案すると難しいです。現行の無人販売の拡大が妥当と考えます。申し訳ございません。

Q11-5.本校への要望・意見と回答(Ns)

1. 学生生活や国試対策

・夏休み中、国試勉強会で生徒は頑張っているにもかかわらず“このままだと誰々は落ちると生徒の前では公表し、黒板に名前を書くなど、イジメともとれる行動言動があったと子供より聞いた。それに乗っかり学生がクラスの写真を見せ、この子は受かる？落ちる？と先生に聞き、それを答えるということがあったそうで、すごく不快な思いをしたそうです。仮に先生同士の間でそういう話があるかは訳がちがうと思います。・実習中の国試勉強の強要もあったそうで、生徒を通じての連絡ではあったが、参加しないとだと。ZOOM代で100円を2回徴収されたことの事。頼んでもいないのにそういう事をしてお金を徴収していた事を学校は把握していたのか？結局、途中で中止とはなったみたいですが…当たり前です。・XX先生の力がないと言っている生徒もいるようだが、その先生が合格させるわけではない。頑張るのは自分です。色んなサポートがあつての学校・先生ではないでしょうか。・他の看護学校の話の聞くと、北都に入学したことをとても後悔しています。残念です。

1. 学校回答

・ご不快な思いを学生さんや保護者の皆様にさせてしまったことは大いに反省しております。そのような状況を早くから頂きましたので、今年度の国試対策は昨年度と大きく変更した対応を学年担任を中心に進めてまいりました。そして、最後まで頑張ってもらえるような対策を講じてきましたので、この1年間の対応の不味さをご容赦頂きたく存じます。しかしながら、先日の国家試験の結果はとても満足できるものになりましたので、少し安堵しているところです。

Q11-6.本校への要望・意見と回答(Ns)

2. 学生生活や国試対策

- ・国試に向けての学習もすすめていただいているとききました。取り組む姿勢に個人差はあるのかもしれませんが、真剣に取り組んでいる生徒もいますので継続してお願い致します。
- ・他校に比べて課題や学習時間が少なすぎる、かなり甘さがあると思います。また、教員の指導や態度に差があるように思います。看護学だけではなく、現在の若年層の状況を理解した関わりを求めます。
- ・とても充実した学校生活を送っているように感じます。先生方や事務の職員さん、全ての方に感謝の気持ちでいっぱいです。

2. 学校回答：

- ・好意的なコメントやご意見、ありがとうございます。皆様のご期待に応えられるように、しっかりと対応させていただきます。振り落とすのではなく、育てる教育を目指します。よろしく申し上げます。ちなみに令和7年度国試では本校は全国平均を上回る高い合格率になると受験生の自己採点から判断されました。確実に成果は出ておりますので、今後ともよろしくご理解とご協力をお願いいたします。

3. 教員の連携

- ・実習評価の際、担当教員が評価した内容を変え別の教員が評価したとの話を娘の友人から聞いています。・何の為の担当なのか疑問です。教職員間での「報連相」がなっていない。生徒たちに注意するが、不信感がつっている。・授業の組み立てが下手すぎる。教員がいない技術練習、単位のとれない授業を間に入れ、時間数が増えたりetc。・スクールバス（駅から）乗り継いで行っている生徒もいるので検討を。

Q11-7.本校への要望・意見と回答(Ns)

3. 学校回答

・様々なご指摘をして頂き、感謝いたします。そのようなことはあってはならないことであると感じます。まずは、教職員間での「報連相」が不十分なため連携が取れていないとのご指摘をしっかりと受け止め、適切に対応していこうと学科内で話しているところです。

4. 実習での連絡

・実習へ行く際の服装や持ち物の連絡を早めにお知らせしていただきたいです。ざっくりと聞いてはいたのですが、チノパンに色指定がある場合や、バッグやメモ帳の形など、細かな指定がある場合は探して購入しなければいけないので、もっと早くにお知らせして欲しかったです。

4. 学校回答：

・大変失礼いたしております。事前に学生さんにはお伝えしているのですが、うまく伝わらない対応であったことは反省いたしております。今後そのようなことがなくなるように、予めしっかりお伝えするだけでなく、繰り返しご連絡を差し上げたいと考えております。

アンケートご協力に対するお礼

お陰様で、令和6年度の保護者アンケートを集計することができました。ご多忙の中、アンケート回答にご協力頂きました保護者の皆様には、心よりお礼申し上げます。

今年度のアンケート結果は、学校全体の結果を昨年度と比較しますと、概ねほぼ同じ結果でありました。学科間の比較で見ると看護学科の対応は他の2学科と比べやや改善がなされていないような印象となりました。このことは、具体的コメントにもあらわれており、教員の対応に関してクレームがやや増えたように感じます。

本校としては、様々な学生さんの要望を誠実に汲み取り、学生満足度を高める対応を心がけてまいりたいと考えております。今年度に目安箱（改善リクエストボックス）の設置すると共に、就学上の問題を解決する手段として、新たにスクールカウンセラーによる相談を始めました。

現在、傾注しています「わかりやすい教育実施とその結果としての国家試験合格率向上」についてはまだまだ不十分であると認識しておりますので、昨年が続いて「最重要の課題」として新年度も鋭意実現に向けて努力してまいりたいと存じます。

今後は、より速やかな問題解決をはかりながら、頻繁に学校情報をお届けいたしたいと考えております。令和7年度も保護者の皆様からご指導・ご鞭撻を賜りながら、本校の活動全般をさらにより望ましいものに高めて参りたいと存じます。

令和7年2月28日

学校法人稲積学園

北都保健福祉専門学校

理事長 稲積実佳子

副理事長 稲積 慧

校長 林 要喜知

本部長 開田 仁司